

転換社債による資金調達と最適投資

秋田県立大学 八木 恭子

千葉工業大学 高嶋 隆太

要旨

本論文では、転換社債を発行することで、投資における資金調達をする企業の最適投資政策を調べる。企業価値を最大にするようなクーポン支払いを求める最適資本構成の下で、株式価値、普通社債の価値、転換社債の価値、投資オプションの価値、倒産の閾値、転換の閾値、投資の閾値、最適なレバレッジ率を考察する。最適資本構成の下では、投資を遅らせて、高いクーポン設定で資金調達をする。すなわち、レバレッジをかけて、転換社債をより多く発行するため、株式価値は減少し、倒産が早まる。さらに、転換オプションの価値もまた減少し、転換は遅くなる。数値実験を通じて、転換社債の発行が投資及び資金調達に与えるさまざまな影響について分析する。